

(別紙)

スポーツ用具及びニュースポーツの種類・用具一覧

2022.5.16 作成

①ローイングエルゴメーター

ローイング動作（ボードを漕ぐ動作）のトレーニングマシンです。ローイング動作は全身の筋肉をくまなく使えるため、効率的な有酸素運動をすることができる。

サイズ：約 240 cm×60 cm



②カローリング（所要時間約 25 分） 2 セット

室内でカーリングができるように考案された「ジェットローラー」を、11m 先のフロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に、相手チームと交互に投球し、ポイントを競い合う。

サイズ：ローラー直径 25.8 cm、ポイントゾーン 94 cm×94 cm



③クオリティー（所要時間約 20 分） 2 セット

アメリカの“ホースシュー”と日本の伝統的な“輪投げ”をミックスして作られた最新輪投げ競技。

サイズ：75 cm×75 cm×45 cm



④ポッチャ・ポッチャシート（所要時間約 30 分） 3 セット

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、ほかのボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。

サイズ：ポッチャ約 60 cm×30 cm シート約 4m×3m



⑤ビーンボーリング（所要時間約 15 分） 1 セット

並列にセットされた回転するピンを、プラスチック製の玉で反転させて得点を競う。コントロールやバランスが重要なゲームである。

サイズ：約 100 cm×64 cm×56 cm



⑥ペタンク（所要時間約 30 分） 屋内用 7 セット・屋外用 4 セット
フランスが発祥のスポーツで、金属製のボールを目標球に向かって投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲーム。室内用（ゴム製）もある。

サイズ：約 25 cm×15 cm



⑦キンボール（所要時間約 45 分） 1 セット

直径 122cm、約 1kg の大きなボールを、指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブ出来なければ他のチームに 1 点ずつ与えられるゲーム。チームワークと判断力が重要なスポーツ。



⑧インディアカ（所要時間約 25 分） 羽 11 個

インディアカと呼ばれるバドミントンのシャトルコックの大きなものを、6 人制バレーボールのルールに準じて、素手で打ち合うスポーツ。



⑨ラダーゲッター（所要時間約 10 分） 2 セット

ヒモでつながったボールを、ラダー（ハシゴ）目がけて投げ、上手く引っ掛け得点を競う。どちらかが 21 点丁度を取って勝利するまで行う。

サイズ：約 61 cm×68 cm×100 cm



⑩デックスティックゲーム（所要時間約 30 分） 2 セット

コートには、ミニ・シャフルボード・ゲーム、スティック・陣取り・ゲーム、スティック・カーリング・ゲームの得点エリアが印刷されており、スティック（キュー）とディスクを使って、3 種類のゲームが楽しめる。

サイズ：7.2m×1.2m



⑪ディスクゲッター 9（所要時間約 10 分） 2 セット

12 枚のディスクを投げ、抜いた枚数を競う。チームの中で交代して投げ、タテ・ヨコ・ナナメいずれか 1 列にパネルを抜いたチームが勝利。参加人数は 2 名以上とし、先攻後攻に分かれ競技する。

サイズ：約 140 cm×124 cm

